



# 平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年11月9日

上場会社名 静甲株式会社  
 コード番号 6286 URL <http://www.seiko-co.com>  
 代表者 (役職名) 取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役  
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月10日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(氏名) 鈴木 恵子  
 (氏名) 鈴木 武夫  
 配当支払開始予定日

TEL 054-366-1106  
 平成29年11月30日

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	14,870	16.4	164	—	213	436.0	353	—
29年3月期第2四半期	12,770	3.6	△0	—	39	—	△21	—

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 489百万円 (—%) 29年3月期第2四半期 △85百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	55.00	—
29年3月期第2四半期	△3.29	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	22,034	13,701	61.6
29年3月期	20,221	13,130	64.9

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 13,571百万円 29年3月期 13,130百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	8.00	—	8.00	16.00
30年3月期	—	8.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,000	13.7	700	16.7	780	13.2	750	82.7	116.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 1社 (社名)日本機械商事株式会社(本社:大阪府大阪市中央区)

(注)詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期2Q	6,483,323 株	29年3月期	6,483,323 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

30年3月期2Q	52,529 株	29年3月期	52,529 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期2Q	6,430,295 株	29年3月期2Q	6,430,804 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因等により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国の経済は、企業収益や雇用環境の改善が続くなか、設備投資や個人消費に持ち直しの動きが見られるなど緩やかな回復基調が続いております。一方、海外政情不安、地政学的リスクの高まりにより、先行きは不透明な状況が続いております。

このような経済環境のなか、当社グループにおきましては、「顧客対応力の充実を図る」を方針として掲げ、「人づくり」「仕組みづくり」「ものづくり」を重点課題として定め、各事業において施策を推進しております。

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は、車両関係事業では新型車の販売が好調に推移し、前年同期の実績を上回りました。産業機械事業、冷間鍛造事業、電機機器事業も前年同期の実績を上回りました。

これらの結果、当社グループの売上高は、前年同期比16.4%増の148億7千万円となりました。利益面では、売上高の増加により、経常利益は前年同期比436.0%増の2億1千3百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は、日本機械商事株式会社（本社：大阪府大阪市中央区）の連結子会社化に伴う段階取得に係る差益8千万円及び負ののれん発生益8千9百万円を特別利益に計上したため、3億5千3百万円（前年同期は2千1百万円の損失）となりました。

#### 〔産業機械事業〕

主要な販売先である食品やトイレタリー業界をはじめとして設備投資意欲が高まっており、特に大型機が売上を押し上げました。また、小型・中型機も引き続き堅調に推移いたしました。これらの結果、売上高は前年同期比10.1%増の20億9千6百万円となりました。利益面では、受注が堅調に推移して工場の操業度が上昇しましたが、大型機の一部が低採算であったため、セグメント利益（営業利益）は前年同期比19.0%減の1億4千3百万円となりました。

#### 〔冷間鍛造事業〕

自動車部品は前期に受注した新規製品の増産により堅調に推移し、前年同期の実績を上回りました。電動工具部品及び事務機・産業機械部品も前年同期の実績を上回りました。これらの結果、売上高は前年同期比24.9%増の8億3千万円、セグメント利益（営業利益）は、前年同期比216.6%増の5千6百万円となりました。

#### 〔電機機器事業〕

主力のF A関連機器は、自動車関連をはじめとして設備投資の需要が回復傾向にあり、堅調に推移したため前年同期の実績を上回りました。また、冷熱機器及び設備機器も前年同期の実績を上回りましたが、空調機器は前年同期実績を下回りました。これらの結果、売上高は前年同期比6.6%増の23億7千8百万円、セグメント利益（営業利益）は、売上高の増加に加えて、冷熱機器の原価低減により、前年同期比17.5%増の1億6千2百万円となりました。

#### 〔車両関係事業〕

新車販売は、前期に投入された新型インプレッサおよび平成29年5月に発売された新型X Vが引き続き好調に推移したことにより、登録車の販売台数が増加し、前年同期の実績を上回りました。また、中古車販売、輸入車販売、サービス部門も堅調に推移し、前年同期の実績を上回りました。これらの結果、売上高は前年同期比20.1%増の95億3百万円、セグメント利益（営業利益）は前年同期比365.0%増の1億9千5百万円となりました。

#### 〔不動産等賃貸事業〕

売上高は、前年同期比9.6%増の6千万円、セグメント利益（営業利益）は前年同期比25.9%増の1千8百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当社は第1四半期連結会計期間において、持分法を適用しない関連会社であった日本機械商事株式会社（本社：大阪府大阪市中央区）の株式を追加取得したことにより、同社を連結の範囲に含めております。当該株式取得に伴う連結の範囲の変更や産業機械事業での受注の増加等を主因として、資産、負債、及び純資産がそれぞれ増加しております。

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、220億3千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ18億1千3百万円増加いたしました。

この内、流動資産は106億4百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億3千2百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金の増加3億6千1百万円、受取手形及び売掛金の減少7億8千8百万円、仕掛品の増加8億2千3百万円によるものであります。

固定資産は114億2千9百万円となり、前連結会計年度末と比べ6億8千1百万円増加いたしました。これは主に有形固定資産の増加3億5千5百万円、投資有価証券の時価評価等による増加3億1千9百万円によるものであります。

負債合計は83億3千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億4千2百万円増加いたしました。これは主に、長期借入金の増加4億2百万円によるものであります。

純資産合計は137億1百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億7千1百万円増加いたしました。これは主に、利益剰余金の増加3億2百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

㈱SUBARU車両製造の完成検査工程における不備に関し、今後の業績に与える影響が不透明であるため、平成30年3月期の通期業績予想につきましては、現時点では、平成29年10月27日付当社「業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表いたしました業績予想数値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,347,361	3,708,768
受取手形及び売掛金	3,436,320	2,647,701
電子記録債権	122,212	408,821
商品及び製品	1,127,540	1,409,572
仕掛品	818,643	1,642,513
原材料及び貯蔵品	19,870	20,242
その他	612,968	781,033
貸倒引当金	△12,503	△13,969
流動資産合計	9,472,412	10,604,683
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,000,499	3,141,046
土地	3,346,094	3,346,094
その他(純額)	1,370,449	1,585,312
有形固定資産合計	7,717,044	8,072,454
無形固定資産	162,366	152,607
投資その他の資産		
投資有価証券	2,502,187	2,821,926
その他	367,335	387,282
貸倒引当金	△256	△4,460
投資その他の資産合計	2,869,265	3,204,748
固定資産合計	10,748,676	11,429,810
資産合計	20,221,088	22,034,493
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,496,210	2,670,867
短期借入金	172,512	318,281
未払法人税等	141,403	94,258
賞与引当金	420,201	463,994
製品保証引当金	51,368	61,407
資産除去債務	8,103	5,015
その他	1,827,809	2,145,315
流動負債合計	5,117,608	5,759,139
固定負債		
長期借入金	907,444	1,310,005
役員退職慰労引当金	148,018	231,626
退職給付に係る負債	74,701	111,197
資産除去債務	66,692	66,982
その他	775,825	853,700
固定負債合計	1,972,681	2,573,512
負債合計	7,090,289	8,332,651

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	3,070,576	3,071,637
利益剰余金	8,862,430	9,164,702
自己株式	△28,623	△28,623
株主資本合計	12,004,383	12,307,716
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,126,415	1,263,731
その他の包括利益累計額合計	1,126,415	1,263,731
非支配株主持分	-	130,394
純資産合計	13,130,798	13,701,842
負債純資産合計	20,221,088	22,034,493

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	12,770,941	14,870,347
売上原価	10,332,406	11,983,783
売上総利益	2,438,535	2,886,563
販売費及び一般管理費	2,438,730	2,721,997
営業利益又は営業損失(△)	△195	164,566
営業外収益		
受取利息	1,299	1,100
受取配当金	37,782	36,111
その他	25,685	40,343
営業外収益合計	64,767	77,555
営業外費用		
支払利息	3,969	4,727
売上割引	17,214	20,194
その他	3,618	4,052
営業外費用合計	24,802	28,974
経常利益	39,769	213,147
特別利益		
固定資産売却益	398	351
段階取得に係る差益	-	80,600
負ののれん発生益	-	89,177
特別利益合計	398	170,128
特別損失		
固定資産売却損	207	471
固定資産除却損	1,598	1,687
減損損失	26,528	2,700
特別損失合計	28,334	4,859
税金等調整前四半期純利益	11,833	378,416
法人税等	33,035	27,667
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△21,202	350,748
非支配株主に帰属する当期純損失(△)	-	△2,970
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△21,202	353,718



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△21,202	350,748
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△64,497	138,292
その他の包括利益合計	△64,497	138,292
四半期包括利益	△85,700	489,040
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△85,700	491,034
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△1,993

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

第1四半期連結会計期間より、持分法を適用しない関連会社であった日本機械商事株式会社（本社：大阪府大阪市中央区）の株式を追加取得したことにより、同社を連結の範囲に含めております。

なお、みなし取得日を平成29年6月30日としているため、第1四半期連結会計期間においては貸借対照表のみを連結しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算方法

当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。